



うちのイチ押し!

今月号に掲載している講座・イベント・展覧会の詳しい内容を、その事業の担当者が直接PRするコーナーです。



大阪市 こども

社会総がかりで 育てよう こどもの夢

カーニバル2010



市内の青少年団体などの協力を得て、全市のこどもたちが家族や友だちと楽しく遊べるこども同士の交流の場として、わくわくドキドキの楽しい催しを行います!

日時

4月25日(日)10:30~15:00

雨天中止(小雨決行)

場所

大阪城公園 太陽の広場 ほか
(JR「大阪城公園」、地下鉄「大阪ビジネスパーク」)

対象

こどもと家族(市外からの参加も可)

費用

無料 申込 不要

こどもカーニバル会場



お問い合わせ

大阪市子ども会育成連合協議会
電話:6941-1116 FAX:6943-8906

大阪市 こどもカーニバルとは ?

こどもの日を記念して、青少年の健全育成を願い、昭和54年から開催されています。

広場中央で行う開会式(10:30~)では、小学生による開会宣言、中学生などによる式典演奏など、こどもたちが主役になって活躍し、さまざまな催しで、一日中笑顔と歓声があふれるカーニバルです。

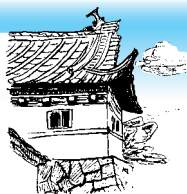
こども会鼓笛隊パレード等

こどもたちによる鼓笛隊やプラスバンド等の演奏などが行われます。

模擬店 こどもと育成者の体験と交流の場として実施されます。

ゲームコーナー 楽しくみんなでゲームを行います。

体験コーナー はしご付き消防車の乗車体験など など



おおさか歴史探訪 ③4

大阪の史蹟や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

桜の通り抜け

4月は桜。大阪で桜といえば造幣局の通り抜けですね。今年もまもなく始まります。今回は、この桜の通り抜けについてのお話です。

現在のOAPがあるあたりに、伊勢、伊賀を領有していた津、藤堂藩の蔵屋敷がありました。大川の対岸にある桜の宮の桜は有名でしたが、それに対抗するように、この藤堂藩の桜も美しかったということです。その後明治になり、この敷地を含む一帯に造幣局が建設されたときの桜を現在の位置に移植したのですが、当時の局長の粋な計らいで、明治16年から一般に公開されるようになりましたので、すでに120年以上の長い歴史があります。

この桜は、現在にいたるまでに、なんども消滅の危機がありました。まず明治18年の淀川大洪水は記録に残る大規模なものでしたが、造幣局の桜もほとんど全滅に近い状態だったといえます。大正から昭和初期にかけては、大阪は重化学工業が発展し、“煙の都”と呼ばれていました。桜は煤煙に弱く、また淀川の水位低下などにより衰弱がすすみ、危機的な状況が続いたそうです。大戦末期の昭和20年6月の空襲では、桜の過半数が焼夷弾により焼け、枯死したそうです。

このような存続の有無にかかわるような状況にあっても、造幣局の担当の方々は大変な努力を続けられ、日本中から新品種を取り寄せるなどして植樹を続け、桜並木を維持してきたそうです。通り抜けにいかれたときには、このようなことにも思いをめぐらせてください。

